

令和6年度水道事業評価(終了時)一覧表

目指すべき 方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の実施 方針
								有効性					指標や目標 値の達成度	目的に対する 実施内容				
													効率性	業務のプロ セス改善 (創意工夫) 投入した費用・労力に 対する成果	情報発信の 実施			
													説明責任	意見や苦情 に対する適切な対応				
																組織学習		
安全	1 安全・安心な水道水の確保	1-1 水源の保全と確保	1-1-1 県水受水の安定化	浄水課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	埼玉県から購入する原水(県水)の安定的な受水を図るため、埼玉県との連携を強化します。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定した水量を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても水量が確保できるように、埼玉県との連携強化を図ります。	①3,800,756	3,756,522	99%	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績を基に必要量を予測し、次年度の県水受水量を確保しました。 ・天候の変化などによる日々の水需要の変化に対しては自己水源を活用し、安定した給水量を確保しました。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても埼玉県と連携を密にし、安定した給水ができました。	□ 給水制限日数(0/0日)  □ 受水予測精度(100.1/99.9%)	有効性	B	A	B	・水需要の動向に合わせ県水受水量の配分を決定し、効率的な水運用を行うよう努めます。 ・承認水量の範囲で自己水源を活用し、県水受水目標である99.9%運用になるよう努めます。	現状維持で継続
								効率性					B	B				
								説明責任					B	B				
								組織学習					B	B				
		1-1-2 自己水源の確保	浄水課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	・地下水の安定した揚水量を確保するため、取水井の適切な維持管理を行います。 ・自己水源の安定的な確保を図るため、老朽化した取水井の改良・掘替工事を計画的に実施します。	・日常的に井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を実施し、井戸の健全性を確保します。 ・渇水時においても環境法令等を遵守した取水に努めた上で必要な水源を確保します。 ・横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事を、自己水源の安定的な確保を図ります。	①12,716	4,600	100%	・計画通り井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を実施し、井戸全体の健全性が保たれました。 ・渇水による給水制限はありませんでした。また、環境法令等を遵守し必要な自己水源を確保しました。 ・横曽根浄水場2号井ポンプ更新工事については、関係各課と情報共有を行い、工事を実施してきましたが、既設設備の撤去時、ビットレスユニット及び揚水管に損傷が発見され、追加部品の交換及び補修が必要となり、現年度内の工事完了が困難になり、次年度まで工期が延長されました。	□ 井戸の静動水位・揚水量の測定 (4/4回/年)	有効性	B	C	B	・井戸の静動水位及び揚水量の測定を継続し、自己水源の保全に努めます。 ・各井戸の掘替・ポンプ更新時期について整理し、自己水源に影響がないよう努めます。	現状維持で継続	
							効率性					B	B					
							説明責任					B	B					
							組織学習					B	B					
	1-2 安全な水質の維持	1-2-1 水質監視体制の強化	浄水課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	・川口市水質検査計画に基づき水質監視体制の強化を図ります。 ・安全な水道水を供給するため、自動水質監視装置による24時間常時監視を行います。	・水質検査計画を作成し、上下水道局ホームページで公表します。 ・水質検査計画に基づいて水質検査を実施し、検査結果を上下水道局ホームページで公表します。 ・水質を24時間監視するため、点検委託を年1回実施し、自動水質監視装置を維持管理します。	①23,392	21,084	90%	・水質検査計画を作成し、法の規定により事業年度開始前に上下水道局ホームページで公表しました。 ・水質検査計画に基づいて水質検査を実施し、検査結果を速やかに上下水道局ホームページで公表しました。 また、PFOS及びPFOAを含む水質管理目標設定項目について、ホームページで公表し、情報の発信に努めました。 ・自動水質監視装置の点検整備を実施し、装置の管理に努めました。 ・県水の水質などの速報を課内で共有し、必要に応じて他課に情報を伝え、情報共有を行いました。	□ 水質検査計画作成・公表  □ 水質検査実施、公開 ・51項目 4回/年 ・9項目 12回/年	有効性	B	A	A	・必要に応じて水質検査計画の見直しを行います。 ・不測の事態が発生した場合は、水の安全性を早急に確認する為に、臨時水質検査を実施します。	現状維持で継続	
							効率性					B	A					
							説明責任					A	A					
							組織学習					B	B					
		1-3 安全な水道水の提供	1-3-1 貯水槽水道の適正管理の促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	貯水槽水道に関する安全管理について継続的に広報していくとともに、貯水槽水道設置者に対し、水質の安全管理に関する通知などにより、貯水槽水道の適正な管理を促進します。	・新設、改造、撤去等の貯水槽情報が更新された場合は、上下水道局から保健所に情報提供を行います。 ・上下水道局ホームページ、便利帳により継続的に広報活動を行います。 ・新設貯水槽に貯水槽用ステッカーを貼付けし、設置者に対し啓発を行います。 ・貯水槽水道設置者へ管理指導通知を送付します。	①264	139	47%	・貯水槽情報を市保健所に提供し連携を図りました。 ・上下水道局のホームページ・水道便利帳にて貯水槽の管理方法について広報を実施し啓発に努めました。 ・貯水槽水道設置者に維持管理について記載されているステッカーを配布し、新規貯水槽(3月末現在105件)の検査時に、目に見える位置への貼付の確認とともに周知啓発を行いました。 ・貯水槽水道設置者に対し管理指導通知(3,219件)を送付、通知に対する問い合わせ(66件)に対し、管理指導・貯水槽清掃業者の案内などを行いました。不達266件については、郵送先変更によるものや建物不存在や貯水槽撤去に伴う廃止など台帳修正を行いました。	□ 貯水槽水道指導率(27.4/33.3%)  □ 新規貯水槽(3月末現在105件)の検査時に、維持管理に関するステッカーの貼付の確認とともに周知啓発を行った。  □ 貯水槽水道設置者に対し、管理指導通知(3,219件)を送付。また、通知に対する問い合わせ(66件)に対し、管理指導・貯水槽清掃業者の案内を実施。	有効性	B	A	A	貯水槽水道の適正管理は、設置者等の衛生管理の意識を持続・向上するために継続的な広報が必要のため、引き続き上下水道局ホームページ・水道便利帳により広報活動を行っていくとともに、新規の設置者には設置時に、既設の設置者に対しては管理指導通知を個別に送付し効果の高い啓発を行っていきます。	現状維持で継続
								効率性					A	B				
								説明責任					A	A				
								組織学習					B	B				
	1-3-2 水道管洗浄の促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	水道管の多くは鉄鋼管またはダクタイル鉄鋼管であり、管内面に防錆処理をしています。鉄錆の発生等により濁り水が発生する恐れがあります。そのため、水道管内の洗浄作業を実施することにより、管内状態を改善し、安全・安心な水道水を提供します。	・配水管洗管計画に基づき、効率的に洗管作業を行います。 ・水質劣化の起こりやすい配水管末端地区やお客様ニーズの高い地区を定期的に排水作業を行います。	①106,205	98,715	93%	・南平及び神根地区の洗管作業を行いました。 ・水質劣化の起こりやすい配水管末端地区20箇所を定期的に排水を行い、水質劣化を防ぎました。 ・濁水の苦情及び管内状況把握のため、管内調査を33箇所行いました。	□ 水質に対する苦情対応割合(0.07/0.11件/千件)	有効性	A	A	A	今後も配水管洗浄作業を継続し、施工地区の管網特性を把握しつつ、今後の維持管理に活かします。また、水質劣化が起こりやすい配水管末端地区等については、継続して排水作業を行っていきます。	現状維持で継続		
						効率性					B	A						
						説明責任					A	A						
						組織学習					B	B						
	1-3-3 直結給水の普及促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道を利用できるよう、水道事業者や水道施設の設置者と連携しながら、安全な水源を確保し、水道水がお手元に届くまでのすべての過程で安全かつ良質な水質を保ちます。	貯水槽の設置場所や定期的な清掃・点検が不要になり、常に新鮮かつ安全・安心な水道水を直接供給する「直結給水」の普及を図るため、マンション等の高層建物における「直結増圧式給水方式」への切替を促進します。	・直結増圧式給水方式設計施行基準に基づき、設置者と協議を行い、適切に事業を実施します。 ・直結増圧式給水方式の普及を図るため、上下水道局ホームページ等により広報活動を行います。	①0	0	-	・直結増圧式給水方式設計施行基準に基づいたマニュアルの作成により、設置希望者に対して適切な対応を行うことで直結増圧式給水方式件数が、昨年度末より91棟1,350戸増加しました。 ・上下水道局の窓口やホームページ等で直結増圧式給水方式の周知及び利用の促進を図りました。	□ 直結給水率(64.0/63.7%)  □ 直結増圧式給水戸数(20,064/19,100戸)  □ 直結増圧式給水普及率(6.61/6.40%)	有効性	A	A	B	安全・安心な水道水を直接供給する「直結給水」を更に普及させるため、ホームページ等での掲載内容や周知方法などを検討し、水道使用者や事業者への理解の向上と利用の促進を図ります。  直結増圧式給水方式に関する問い合わせや貯水槽からの切り替えの相談も増え、指標の目標値も達成していることから、着実に浸透してきていると思われます。また、組織として研修の参加や自己研鑽により引き続き知識の向上に取り組むとともに、資格取得も奨励していきます。	現状維持で継続		
						効率性					A	B						
						説明責任					B	B						
						組織学習					B	B						

令和6年度水道事業評価(終了時)一覧表

目指すべき 方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算 額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針																					
								有効性					指標や目標 値の達成度	目的に対す る実施内容																									
								効率性					業務のプロ セス改善 (創意工夫)	投入した費 用・労力に 対する成果																									
								説明責任					意見や苦情 に対する適 切な対応	情報発信の 実施																									
								組織学習					職員の知識 向上のため の取組み	知識の伝達																									
強 靱	2 安定 ・ 快 適 な 水 道 水 の 供 給	2-1 水道施設の 更新	2-1-1 浄配水場施設 の更新	浄水課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	施設更新基本計画に基づき、 浄配水場施設の更新工事を実施 します。更新にあたっては、 将来の水需要に応じた施設規模 の適正化を図ります。	・新郷浄水場は、委託1件工事1件を実施 します。 ・神根浄水場は、委託2件工事2件を実施 します。 ・横曽根浄水場は、工事3件を実施しま す。 ・鳩ヶ谷浄水場は、委託1件を実施しま す。 ・南平配水場は、委託1件を実施します。	①1,400,273	1,276,827	66%	・関係各課と情報共有しながら、工期内に継続事業2事業を含む計3件の工事が完了し、設備が性能回復することができました。また、継続事業1事業(工事1件)については、予定とおり進捗しました。他、3工事については、繰越になり、箇所外工事で2件工事を実施しました。 ・関係各課と情報共有しながら、より安全な運用と安定的な維持管理が可能となる設備にするため継続事業1事業を含む計3件の設計委託と調査に関する委託を2件完了することができました。また、予算外として、設計委託1件と調査に関する委託1件を実施しました。 ・関係各課の計画の進捗状況などの理由で計画の見直しが必要になったことにより、継続事業(1委託)件が未実施になり、減額補正を実施しました。	□ 浄水施設の耐震化率 (48.9/48.9%)	有効性	B	C	B	・関係各課と情報を共有し、工期内に安全に完了させます。	現状維持 で継続																					
								②1,936,174				□ ポンプ所の耐震化率 (66.9/66.9%)	効率性	B	B																								
			2-1-2 老朽化管路の 計画的更新	上水道建設課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 および適切な維持管理 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	強靱性の低い高級鋳鉄管等や法定耐用年数を超えるダクトイル鋳鉄管等の老朽管を、施設更新基本計画および老朽度診断結果等に基づき耐震管へ更新します。	・管路更新計画に基づき、高級鋳鉄管0.35kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、経年管13.31kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	①3,305,027	3,017,811	91%	・管路更新計画に基づき、高級鋳鉄管については、令和5年度から繰越した工事(0.07km)を含め、0.38kmを更新しました。 ・管路更新計画に基づき、経年管については、令和5年度から繰越した工事(0.32km)を含め、13.81kmを更新しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。	□ 管路の更新率(0.97/1.09%)	有効性	B	A				B	・他の事業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、交通規制期間を最小限に抑えるとともに、断水・濁水の抑制、交通渋滞等の防止により一層努めます。 ・設計変更も含めた工事の竣工が年度末に集中しているため、発注の平準化、適正な工期の設定を徹底し、安全かつ余裕を持って工事が執行できるようより一層努めます。	現状維持 で継続																		
								②3,305,027				□ 基幹管路の耐震管率 (85.8/88.3%)	効率性	B	B																								
								2-2 配水管網の 強化				2-2-1 配水管のネットワーク化の 推進	上水道建設課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 および適切な維持管理 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	市内全域を網羅している配水管網を、拠点浄配水場を軸とした5つのエリアに基幹ブロック(大ブロック)化し、水圧や流量などの快適性の向上を図ります。また、非常時には、断水範囲を最小限に食い止めるとともに、被害区域内を集中的に補修し、早期に復旧するためのネットワークを構築します。	・配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切り弁や排水設備の設置及び、それに伴う配水管0.44kmを整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	①199,491	139,062				70%	・配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切り弁や排水設備を整備しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。	□ 補強管整備率(85.7/91.8%)	有効性	B	A	B	・他の事業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、交通規制期間を最小限に抑えるとともに、断水・濁水の抑制、交通渋滞等の防止により一層努めます。 ・適正な工期の設定を徹底し、安全かつ余裕を持って工事が執行できるようより一層努めます。	現状維持 で継続									
																	②199,491							□ 仕切り弁設置率(93.1/89.7%)	効率性	B	B												
		2-2-2 効率的な管路の 拡張・充実	上水道建設課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 および適切な維持管理 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	安全・安心な水道水を安定して供給するため、管網未整備路線等に配水管を整備します。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線4.56kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合などは、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。	①776,543	748,706	96%	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な予定路線4.56kmに対し、約4.29kmを耐震管により整備しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。 ・区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的に工事を行いました。	□ 管路の耐震管率(28.7/29.2%)	有効性	B	A	B	適切な執行を行えるよう、土地区画整理事業施行者等と適宜協議・調整を行い、計画通りに工事が執行できるよう努めます。	現状維持 で継続																						
							②776,543				□ 整備実施率(97.6/100%)	効率性	B	B																									
							2-3 維持管理の 充実				浄水課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	浄配水場設備の適切な維持管理を図るとともに、配水量の変化に応じた適切な運転管理を継続します。	・安定した運用を行うため、定期的な設備点検を実施します。 ・不測の機器故障に対しても、迅速に対応し、被害を最小限にします。 ・設備の更新時も安定した水道水を供給するため、適切な運転管理を行います。				①302,846	278,804	92%	・定期的な設備点検を実施して機器の健全性を確認し、安定した運用ができました。 ・機器の故障に対して原因を確認し修繕を行うことにより被害を最小限にとどめ、安定した運用を継続できました。 ・設備の更新時においても適切な運転管理を行い、安定した水道水の供給ができました。	□ 浄配水場事故割合 (0.00/0.00%)	有効性	B	A	B	機器故障等について迅速に対応し、また、水需要に合わせた運転管理に努めます。	現状維持 で継続											
																		②302,846				□ 浄配水場事故割合 (0.00/0.00%)	効率性	B	B														
																		2-3-2 管網の適切な 維持管理				上水道維持課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	・管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。 ・水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。	・給水台帳、竣工図、道路台帳、管網解析システムなどの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。				①82,221	74,771	91%	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。	□ マッピングシステムのデータ更新を継続的に実施。情報の鮮度及び正確性を向上させた。	有効性	B	A	B	マッピングシステム移行に向け、マッピングシステムのデータ整備及びシステム面の整備を引き続き実施していきます。	拡大して継続
																													②82,221				□ マッピングシステムのマニュアル整備	効率性	B	B			
2-3-2 管網の適切な 維持管理	上水道維持課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	・管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。 ・水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。	・給水台帳、竣工図、道路台帳、管網解析システムなどの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。	①82,221	74,771	91%	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。	□ マッピングシステムのデータ更新を継続的に実施。情報の鮮度及び正確性を向上させた。	有効性	B	A	B	マッピングシステム移行に向け、マッピングシステムのデータ整備及びシステム面の整備を引き続き実施していきます。	拡大して継続																								
									②82,221	□ マッピングシステムのマニュアル整備	効率性	B				B																							
2-3-2 管網の適切な 維持管理	上水道維持課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	・管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。 ・水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。	・給水台帳、竣工図、道路台帳、管網解析システムなどの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。	①82,221	74,771	91%	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。	□ マッピングシステムのデータ更新を継続的に実施。情報の鮮度及び正確性を向上させた。	有効性	B	A	B	マッピングシステム移行に向け、マッピングシステムのデータ整備及びシステム面の整備を引き続き実施していきます。	拡大して継続																								
									②82,221	□ マッピングシステムのマニュアル整備	効率性	B				B																							
2-3-2 管網の適切な 維持管理	上水道維持課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 を行うとともに、非常時の 被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、 常に安定した水圧 で途切れることなく水道 水を供給します。	・管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。 ・水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。	・給水台帳、竣工図、道路台帳、管網解析システムなどの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。	①82,221	74,771	91%	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的にを行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システム改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。	□ マッピングシステムのデータ更新を継続的に実施。情報の鮮度及び正確性を向上させた。	有効性	B	A	B	マッピングシステム移行に向け、マッピングシステムのデータ整備及びシステム面の整備を引き続き実施していきます。	拡大して継続																								
									②82,221	□ マッピングシステムのマニュアル整備	効率性	B				B																							



令和6年度水道事業評価(終了時)一覧表

目指すべき 方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針
													有効性	指標や目標 値の達成度	目的に対す る実施内容			
													効率性	業務のプロ セス改善 (創意工夫)	投入した費 用・労力に 対する成果			
													説明責任	意見や苦情 に対する適 切な対応	情報発信の 実施			
													組織学習	職員の知識 向上のため の取組み	知識の伝達			
強 靱		2-4 漏水対策の 強化	2-4-1 漏水調査・漏 水対応	上水道維持課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 および適切な維持管理 を行うとともに、非常時 の被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図 り、常に安定した水压 で途切れることなく水道 水を供給します。	漏水の早期発見・早期修理に より、漏水率の低減を目指し ます。	・1次側漏水修理はお客様からの通報から 漏水修理完了までの時間を短縮しま す。 ・漏水多発地区の漏水調査と緊急漏水調 査委託を実施し、早期発見・早期修繕を 実施します。 ・前年度より漏水率向上を目指します。 (目標漏水率 5.9%)	①766,739  ②766,739	748,863	98%	・通報から修理完了までに要した時間は令和5年度は 48時間、令和6年度も同様に48時間でした。 ・年間漏水件数は2,581件であり、緊急漏水調査にて 1,104件、他の漏水調査では188件の漏水を発見しまし た。 ・漏水率は7.1%であり、目標を達成できませんでした。	□ 漏水率(7.1/5.9%)	有効性	B	A	B	漏水調査により早期発見を行い、漏 水量の低減に努めていきます。	現 状 維 持 で 継 続
			2-4-2 老朽給水管 布設替の推 進	上水道維持課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 および適切な維持管理 を行うとともに、非常時 の被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図 り、常に安定した水压 で途切れることなく水道 水を供給します。	漏水発生頻度が高い私道内の 老朽給水管の布設替えを行う とともに、配水管の布設替工事 等に合わせて、給水管をステン レス鋼管等に切替えるなど、漏 水率の低減を図ります。	・「老朽給水管布設替計画」に基づき私道 57路線の老朽給水管の布設替えをし ます。 ・漏水発生件数の実績に基づき令和7年 度以降の「老朽給水管布設替計画」を更新 します。 ・配水管新設・布設替に伴い、給水管切 替箇所で給水管をステンレス鋼管に布設 替することにより、出水不良の解消や漏 水防止を図ります。 ・宅地内メーターまでのステンレス鋼管で の切替率を前年度より向上させ、宅地内 の漏水防止を推進します。 ・橋梁添架配水管の維持修繕を施しま す。	①1,022,945  ②1,022,945	991,500	97%	・私道内1996m(51路線)の老朽給水管の布設替えを 実施しました。 ・「老朽給水管布設替計画」の更新を行い、令和7年度 実施計画を作成し、次年度施工路線の選定を完了しま した。 ・配水管布設に伴う給水管切替1222箇所をステンレ ス鋼管に布設替し、出水不良の解消を図りました。 ・宅地内のステンレス管への切替は762箇所行いまし た。 ・橋梁添架配水管塗装工事を5箇所施工しました。	□ 漏水率(7.1/5.9%)  □ 配水管布設に伴う給水管切替 1,222箇所  □ 宅地内ステンレス管切替 762箇所	有効性	A	A	B	・老朽給水管布設替に関しては、私 道内の施工となり、私有地の権利関 係で不明な点があるため、調査方法 など検討します。 ・令和7年度実施計画に基づき老朽 給水管布設替を1,448m(44路線)行い ます。 ・私道内の漏水発生件数の実績に基 づき、「老朽給水管布設替計画」の更 新を行います。 ・配水管布設に伴う給水管切替を 1,220箇所ステンレス鋼管にて施工 し、出水不良解消や漏水防止を推進 します。 ・橋梁添架配水管塗装工事により、 水管橋の予防保全を図ります。	現 状 維 持 で 継 続
			2-4-3 私道内給水 管布設替整 備補助の促 進	上水道維持課	快適な生活のために、 浄配水場や配水管の 計画的・効率的な更新 および適切な維持管理 を行うとともに、非常時 の被害を最小限にする 管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図 り、常に安定した水压 で途切れることなく水道 水を供給します。	補助金を交付することにより私 道内の給水管布設替整備工事 を促進し、給水管の老朽化に 伴う出水不良および漏水多発 等の解消に努め、給水の安定 と漏水率の低減を図ります。	・お客様の申請に基づき13路線の老朽管 をステンレス鋼管に布設替えることによ り、出水不良や漏水を解消し、給水管網 の整備促進を図ります。引き続き、申請 予定件数の把握に努め、補助金の予算 執行を適正に実施します。	①20,000  ②20,000	1,944	10%	申請に係る相談件数は16件あり、補助金申請件数は1 件受理し、補助金を交付しました。布設替延長は51.1 m。補助金交付額は194万4千円、進捗率6.1%です。 補助金の利用促進を目指して、5月に本庁舎、支所等 市内9カ所にチラシを設置しました。また、8月発行のみ ずぐるまに私道補助3課(道路維持課・上水道維持課・ 下水道維持課)による特集記事を掲載し、利用促進を 図りました。そして、10月には川口市市産品フェア、荒 川ふれあいまつりそれぞれにてポスター・チラシ配布を しました。	□ 私道内給水管布設替延長 (51.1/500m) ※延長は目標値に達していないも の、年度中の申請に対しては適 切な処理を行っており、周知等に ついても制度の趣旨に沿った事業展 開ができているため、「予定どおり の成果を上げた」とした。  □ 補助金交付件数 1件 補助金交付額 194万4千円	有効性	B	A	B	今年度も私道補助3課による広報で 一定の成果が出ていることから、引 き続き関係課との連携を図りながら、 今年度以上に広報活動に注力し、市 民への啓発の一層の強化を行ってい きます。	現 状 維 持 で 継 続
		3 災害対策の 推進	3-1 震災対策の 強化	上水道建設課	地震や風水害といった 自然災害などにおい て、非常時への備えを 強化し、また、一日でも 早い安定した日常生活 の回復のために、社会 基盤を支える企業とし ての役割を果たしま す。	地震等の災害発生時におい ても市民の救護活動等に支障を きたすことのないよう、浄配水 場から重要給水施設(災害観 点病院および救急告示医療機 関)への配水ルートを優先的に 耐震化します。	・災害発生時においても市民の救護等に 支障とならないよう、救急告示医療機関 への配水ルート耐震管により0.35km更 新します。 ・工事施工にあたり、湧り水発生、出水不 良及び交通渋滞等を抑制するため、施工 業者と綿密に施工方法、施工体制を確認 します。	①172,085  ②172,085	167,673	97%	・災害発生時においても市民の救護等となら ないよう、救急告示医療機関への配水ル ート耐震管により0.37km更新しまし た。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないよ うに、事前に施工方法、施工体制を確認 し、事故等もなく工事を行いました。	□ 重要給水施設配水管路の 耐震管率 (78.3/85.0%)  □ 救急告示医療機関への配水 ルート整備 (0.37km)	有効性	B	A	B	今後、耐震化を進めていく重要給水 施設への配水ルートを選定したが、 選定配水ルートが最も効果的かつ効 率的な配水ルートか検証・解析を行 います。	現 状 維 持 で 継 続
			3-1 震災対策の 強化	上水道総務課	地震や風水害といった 自然災害などにおい て、非常時への備えを 強化し、また、一日でも 早い安定した日常生活 の回復のために、社会 基盤を支える企業とし ての役割を果たしま す。	災害時や非常時の応急給水・ 復旧体制を整備し、情報収集 機能の強化、関係団体等との 連携強化など、社会基盤の一 翼を担う水道事業体として対応 策の強化を図ります。	・上下水道局災害対策訓練等から得られ た知見を活かして、マニュアルの更新を 行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四 市連絡協議会については、該当事業体 や関連団体と継続的な情報交換を行いま す。 ・継続的な局内全体の応急給水復旧体制 の基礎を整え維持するよう働きかけま す。	①197  ②197	5	3%	・日本水道協会埼玉県支部県南地区協議会技術研修 会において、令和6年能登半島地震の応急復旧活動 の情報共有を行いました。 ・局内訓練で応急給水資機材の取扱いやバルブ操作 訓練等を行い、手順や課題を確認することができまし た。 ・今年度末に退職予定の職員のうち、上下水道事業経 験者に災害時支援協力員になっていただけるように依 頼しました。	□ 給水人口一人当たり貯留飲料 水量(141/145 L/人)  □ 応急給水施設密度 (42.0/42.0 箇所/100km)  □ 災害対策訓練実施回数 (12/13回)	有効性	B	A	B	・各職員が自分の役割を認識し、い つ災害が発生しても速やかに応急給 水・復旧活動に移行できる体制を整 えます。	現 状 維 持 で 継 続
			3-1-2 応急給水・復 旧体制の整 備	上水道総務課	地震や風水害といった 自然災害などにおい て、非常時への備えを 強化し、また、一日でも 早い安定した日常生活 の回復のために、社会 基盤を支える企業とし ての役割を果たしま す。	災害時や非常時の応急給水・ 復旧体制を整備し、情報収集 機能の強化、関係団体等との 連携強化など、社会基盤の一 翼を担う水道事業体として対応 策の強化を図ります。	・上下水道局災害対策訓練等から得られ た知見を活かして、マニュアルの更新を 行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四 市連絡協議会については、該当事業体 や関連団体と継続的な情報交換を行いま す。 ・継続的な局内全体の応急給水復旧体制 の基礎を整え維持するよう働きかけま す。	①10,932  ②10,932	9,420	86%	・応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認 しました。 ・災害用備蓄ボトル水を製造し、指定給水所への配備 を実施しました。 ・各発電機の保守点検及びリフターの保守点検を行い、 使用方法の確認を行いました。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行いました。	□ ボトル水製造、配備  □ 給水袋配備(3,000/3,000枚)	有効性	B	A	B	・現在の資機材の管理情報(数、場 所、状態)を常に把握し、局内の職員 に共有を行い、災害に備えます。 ・局職員が必要とする資機材や物資 を把握し、配備します。	現 状 維 持 で 継 続
			3-1-3 災害用資機 材の整備	上水道総務課	地震や風水害といった 自然災害などにおい て、非常時への備えを 強化し、また、一日でも 早い安定した日常生活 の回復のために、社会 基盤を支える企業とし ての役割を果たしま す。	災害時に効率的かつ効果的な 応急給水、災害復旧作業が行 えるよう資機材等の整備を進 めます。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整 備」と合わせ、より効果的な災害用資機 材等の研究を行い、局内での情報共有を 行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、 災害用資機材管理台帳の更新を行いま す。また、発電機の保守点検及びリフター の保守点検を行います。 ・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を 補うものとして、家庭での水備蓄の啓発を 行います。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配 備を行います。	①10,932  ②10,932	9,420	86%	・応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認 しました。 ・災害用備蓄ボトル水を製造し、指定給水所への配備 を実施しました。 ・各発電機の保守点検及びリフターの保守点検を行い、 使用方法の確認を行いました。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行いました。	□ ボトル水製造、配備  □ 給水袋配備(3,000/3,000枚)	有効性	B	A	B	・現在の資機材の管理情報(数、場 所、状態)を常に把握し、局内の職員 に共有を行い、災害に備えます。 ・局職員が必要とする資機材や物資 を把握し、配備します。	現 状 維 持 で 継 続

令和6年度水道事業評価(終了時)一覧表

目 方 指 す べ き	基本 政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算 額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針
								有効性					指標や目標 値の達成度	目的に対す る実施内容				
								効率性					業務のプロ セス改善 (創意工夫)	投入した費 用・労力に 対する成果	評価理由 (特記事項)			
								説明責任					意見や苦情 に対する適 切な対応	情報発信の 実施				
								組織学習					職員の知識 向上のため の取組み	知識の伝達				
		3-2 危機管理体 制の確立	3-2-1 テロ対策の強 化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	・水道施設に毒物投入などのテロ攻撃を受けると、市民生活や経済活動を脅かす事態となことから、テロ行為抑止のため、水道施設の警備強化および水質監視体制の強化を図ります。 ・緊急時の飲料水の供給体制、関係団体等との連携などの対策強化を図ります。	・浄配水場の機械警備や進入防止策を維持し、調査研究を行い警備体制の強化を図ります。 ・応急給水訓練を実施します。 ・関係団体との連携強化を図ります。	①22,625	22,625	100%	・複数年契約を行うことにより、年間を通して安定的な高度機械警備体制を維持し、浄配水場の安全を確保しました。 ・応急給水班と管路復旧班で連携し応急給水訓練を実施しました。 ・会議等を通じ、日本水道協会等の関係団体との連携強化を図りました。	□ 応急給水訓練の実施(3/2回)	有効性	B	A	B	・浄配水場の機械警備や侵入防止策を維持し、調査研究、警備体制の強化に努めます。 ・非常時に備え、各班ごとに必要な新たな訓練を実施します。	現状維持で継続
								効率性					B	B	・浄配水場の機械警備や進入防止策を維持し、調査研究を行い警備体制の強化を検討しました。 ・応急給水訓練の実施内容や関係団体との会議に関する情報提供を増やし、職員の理解を促進し、非常時の対策を強化します。			
								説明責任					B	B				
								組織学習					B	B				
			3-2-2 漏水対策の強 化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	水源となるダム貯水量等の情報収集を行い、漏水時においても、安定した水道水の供給に努めます。  ・漏水対策マニュアルを適宜更新します。 ・水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報等を収集し、情報提供を行います。	・漏水状況に応じ、漏水対策マニュアルに沿って、非常時体制へ速やかに移行します。 ・漏水対策マニュアルを適宜更新します。 ・水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報等を収集し、情報提供を行います。	①0	0	－	・ダム貯水量、水源地降水量、積雪量等の情報収集を行い、漏水状況の注視に努めました。 ・水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報等を収集しました。	□ 応急給水訓練の実施(3/2回)	有効性	B	A	B	・引き続き、必要に応じて漏水マニュアルの更新を行います。 ・水源情報、水源地積雪状況及び気象庁長期予報情報を引き続き収集し、上下水道局ホームページ及び公共施設での文書掲示による広報の準備を行い、漏水に備えます。	現状維持で継続
								効率性					B	B	・平常時から情報を収集し、市民に情報を提供することで、業務の有効性の向上を見込みます。			
								説明責任					B	B				
								組織学習					B	B				
			3-2-3 水道事故対策の強 化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	配水管の布設工事等において、不測の事故が起こらないよう防止策を講じます。また、事故発生時には、迅速な対応に努めます。	・令和5年度分の水道事故報告について、その原因・対応策を調査、研究します。 ・水道事故発生時には、迅速に対応し、被害を最小限に止めます。	①0	0	－	・令和5年度に発生した事故の情報について、検証を行いました。	□ 浄水場事故割合 (0.00/0.00 10年間の件数/箇所)  □ 管路の事故割合 (0.6/0.0 件/100km)  □ 基幹管路の事故割合 (0.0/0.0 件/100km)  □ 給水人口一人当たり平均断水・漏水時間(0.00/0.00時間)	有効性	B	A	B	・水道事故例を収集、分析し再発防止を図ります。	現状維持で継続
								効率性					A	B	・検証した結果を基に指標を達成することで、改善を見込みます。			
								説明責任					A	B				
								組織学習					B	B				
			3-2-4 災害対応の強 化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害などにおいて、非常時への備えを強化し、また、一日でも早い安定した日常生活の回復のために、社会基盤を支える企業としての役割を果たします。	市民生活や経済活動に不可欠な重要なライフラインを担う水道事業体として、あらゆる脅威や非常時へ対応するため、体制整備を図ります。	・新型インフルエンザのほかノロウィルス等感染症に関する情報を収集し、組織内において共有します。 ・感染症予防講習会を実施します。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の結果とともにホームページに掲載します。 ・各浄配水場の自家発電設備の点検を行うほか、自家発電設備に必要な石油燃料を確保します。 ・通信機能停止を想定した運転訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを適宜更新します。	①387	368	95%	・新型インフルエンザ等の感染症に係る情報収集を行い、職員及び委託関係者を対象とした感染症予防講習会を開催し、感染症予防に関する知識の強化を図りました。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の検査結果とともにホームページに掲載しました。 ・定期的に非常用自家発電設備の試運転を行い、確実に運転できるような状態を維持し、常に燃料の確保をしました。 ・上青木浄水場・神根浄水場・石神配水場で、施設被害状況確認訓練及び、非常時を想定した通信障害による状態監視の連携確認訓練を実施しました。	□ 感染症予防講習会の実施 (1/1 回/年)  □ 水道水における放射性物質の情報提供(4/4 回/年)  □ 燃料備蓄日数(0/0.4日)  □ 停電時配水量確保率 (78.9/78.4%)	有効性	B	A	B	・新型インフルエンザ等対策マニュアルに基づき、職員への感染予防対策を実施し、未発生期においても要員や物品の確保、業務優先リストを作成するなどの対策を行います。 ・非常時を想定した訓練を実施し、不測の事態に対応できるように訓練を継続します。	現状維持で継続
								効率性					B	B	・平常時から感染症予防に関する情報を収集し、職員に積極的に周知することで、感染予防に関する知識の強化を見込みます。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、迅速に埼玉県の結果とともにホームページに掲載しました。			
								説明責任					B	B				
								組織学習					B	B				
持 続	4 サ ー ビ ス の 向 上	4-1 お客様サービスの向上	4-1-1 お客様センターの利便性の向上	料金課	信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。	上下水道局お客様センターの利便性の向上を図るため、継続的に機能の検証を行います。また、窓口でのご意見やご要望などのお客様の声を業務に反映させ改善に努めます。	・インターネットを利用した水道使用開始・中止等の届け出方法を推進します。 ・委託事業者と毎月連絡調整会議を開催し、お客様の意見、要望等の把握に努めます。 ・検針・収納等委託業務が円滑に稼働しているか検証します。	①678,525	678,752	100%	・令和6年度のインターネットを利用した使用開始・中止等の届け出件数は12,166件であり、昨年度実績(11,212件)を上回りました。 ・意見・要望等及び委託業務の円滑な稼働については、検針・収納等委託業者から意見・要望を含む月次報告書を提出させるとともに、毎月連絡調整会議を開催し、事業の進捗状況を共有、把握、検証しています。 ・検針・収納等業務委託が円滑に稼働しているか、同委託業者の評価審査委員会によって検証しました。	□ 料金請求誤り割合 (0.14/0 件/千件)  □ インターネットを利用した使用開始・中止等の届出 12,166件	有効性	A	A	A	・経営の効率化やお客様サービスの向上を図るため、今後も各種手続きにおける電子申請を検討していきます。	現状維持で継続
								効率性					A	B	・電子申請について、広報や転入・転出者へのチラシ配布を行い、利用者の向上につながりました。			
								説明責任					B	B				
								組織学習					B	A				
		4-1-2 サービスの多様化	料金課	信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。	お客様の利便性を高めるため、多様化するお客様ニーズを把握し、サービスの充実に努めます。	・導入したクレジットカード決済、スマートフォン決済の収納比率を検証します。 ・口座振替割引制度導入後の期限内納付率を検証します。 ・新たな支払いチャネルの導入に向けた調査・研究を進めます。 ・取扱金融機関の拡大について、調査・研究を進めます。	①62,349	60,960	98%	・キャッシュレス決済の利用割合が、クレジットカード決済で10.92%(前年度9.85%)、スマートフォン決済で5.19%(前年度3.84%)となり、前年度に比べ増加しました。 ・口座振替割引制度により、納期限内の納付が促進されました。	□ 取扱金融機関数(25/25行)	有効性	A	A	A	・お客様の利便性の向上のため、引き続きキャッシュレス決済を推進していきます。	現状維持で継続	
							効率性					A	A	・クレジットカード決済、スマートフォン決済等のキャッシュレス決済について、利用者が大幅に増加しました。				
							説明責任					A	B					
							組織学習					B	B					



令和6年度水道事業評価(終了時)一覧表

目 方 向 性	基本 政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算 額 (千円) ②現計予算 額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針
													有効性	指標や目標 値の達成度	目的に対す る実施内容			
													効率性	業務のプロ セス改善 (創意工夫)	投入した費 用・労力に 対する成果			
													説明責任	意見や苦情 に対する適 切な対応	情報発信の 実施			
													組織学習	職員の知識 向上のため の取組み	知識の伝達			
			4-1-3 情報資産の 管理と情報提 供の推進	上下水道総務課	信頼される水道サービ スであるために、お客 様に正確・迅速・丁寧 に対応するとともに、お 客様ニーズの把握によ りサービスを充実し、積 極的な情報提供により 相互理解を深め、お客 様の満足度を高めま す。	個人情報の管理を徹底し、漏 えい防止のため万全の体制整 備を図ります。また、川口市情 報公開制度の厳格運用を継続 するとともに、積極的かつ迅速 に、わかりやすい情報発信に 努めます。	・個人情報の保護に関する法律を遵守 し、川口市情報セキュリティポリ シーの厳格運用を継続します。 ・委託企業による個人情報保護に 対する取組みについて検証を行 います。 ・職員に対し情報セキュリティに 係る研修を実施し、個人情報保 護の徹底を図ります。 ・上下水道事業年次報告書を作 成します。	①58  ②62	62	100%	・個人情報の保護に関する法律を遵守し、川口市情報セキュリティポリシーを厳格運用を継続した結果、個人情報情報の漏えい事故発生件数は0件でした。 ・委託企業による個人情報保護に対する取組みについて検証を行い、情報資産の取扱いについて適切な指導を行いました。 ・上下水道局新任職員研修にて、情報セキュリティ研修を実施しました。 ・上下水道事業年次報告書を作成し、ホームページ等で公表しました。	<input type="checkbox"/> 個人情報漏えい事故発生件数 (0/0件)	有効性	A	A	A	・上下水道事業年次報告書を8月初旬に発行します。 ・テレワーク等、働き方の変化に 応じて適切な情報セキュリティ 施策を講じ、個人情報及び機密 情報の保護に努めます。	現 状 維 持 で 継 続
			4-1-4 水道事業PR とお客様の声 の反映	上下水道総務課	信頼される水道サービ スであるために、お客 様に正確・迅速・丁寧 に対応するとともに、お 客様ニーズの把握によ りサービスを充実し、積 極的な情報提供により 相互理解を深め、お客 様の満足度を高めま す。	・お客様の水道事業への理解を 促進するため、ホームページ、 広報誌、各種イベントにおけ るPR活動等により、積極的な 情報発信に努めます。 ・市民意識調査やアンケート等 によりお客様の意見を収集し、 お客様ニーズの的確な把握と お客様の意見を水道事業に反 映させるため、広報・広聴体制 を推進します。	・各種イベント参加により水道 のPR事業を実施します。 ・ホームページアンケートおよ びイベントでのアンケート調 査を実施し、結果を事業に反 映させます。 ・ポスターコンクールを開催し 、表彰式、展示会を実施しま す。 ・上下水道広報誌「みずぐるま」 を発行し、満足度の高い情報 提供に資するように工夫を凝 らします。	①6,106  ②6,106	5,590	92%	・イベント(荒川ふれあいまつり、市産品フェア、消防防災フェア)に出展し、水道事業をPRしました。 ・上下水道局ホームページやイベント(荒川ふれあいまつり・市産品フェア)にてアンケートを実施し、水道事業の取組みの周知度を把握するとともに、お客様のご意見・ご要望を収集しました。 ・ポスターコンクールを実施し、1,595名からの応募がありました。表彰式は7月に入選者を対象として行いました。また、8月に川口市役所第一本庁舎、9月にアトリアにて展示会を実施し、62作品を展示しました。 ・広報誌を年2回発行し、水道事業の財政状況・経営状況・取組みについて掲載しました。掲載にあたっては写真や図を活用し、理解に繋がるよう努めました。	<input type="checkbox"/> 広報誌による情報の提供度 (1.3/1.5 部/件)	有効性	B	A			
													効率性	A	A			
													説明責任	B	B			
	5 社会・環 境との調 和	5-1 地域社会と の協働	5-1-1 地域社会との 連携強化	上下水道総務課	水道事業を通じて、社会 との調和を実現するため、 社会貢献活動に積極的に取 り組みます。また、限りある 自然環境を未来に残せるよ う環境と調和した事業を推 進します。	・地域住民の水道事業への正 しい理解を促進するため、浄 水場や水道庁舎を活用し、「水 道」について学習する環境を 整えます。 ・市民の皆様との積極的なコ ミュニケーションを通し、水 道事業への理解と協力を促し ます。 ・地域住民との災害訓練等の 場を捉え、防災対策の促進を 図るとともに、地域との連携 強化を図ります。	・水の学習会について参加者の 意見を取り入れ内容を充実さ せて実施します。 ・浄水場等を活用した上下水道 学習プログラムを実施し、内 容の充実に努めます。 ・上下水道学習用パンフレット や市内小学校に配布します。	①612  ②612	469	77%	市内在住の小学生と保護者を対象とした「水の学習会」(浦山ダム(秩父市)と荒川水循環センター(戸田市)の見学)に74名が参加し、上下水道の仕組みや大切さについて理解を深めました。 ・市産品フェア、荒川ふれあいまつり、消防防災フェアに上下水道局ブースを出展しました。 ・上下水道施設見学会は、検討の結果、実施を見送りました。 ・上下水道学習用パンフレットを市内小学校4年生及び水の学習会参加者に配布しました。	<input type="checkbox"/> 水道施設見学者割合 (0.12/0.1 人/千人)  <input type="checkbox"/> イベント出展回数(3/2 回/年)	有効性	B	A	B	・イベント出展では、水道事業の理解に繋がるよう、事業内容についてのパネルや給水車、段ボール製貯水槽などを展示しました。	現 状 維 持 で 継 続
													効率性	A	B			
													説明責任	B	A			
													組織学習	B	B			
		5-2 資源の有効 利用と環境 負荷の軽減	5-2-1 資源・エネル ギーの有効 活用	財務課	水道事業を通じて、社会 との調和を実現するため、 社会貢献活動に積極的に取 り組みます。また、限りある 自然環境を未来に残せるよ う環境と調和した事業を推 進します。	・電力消費量削減のため、施 設の更新時に高効率型設備や 省エネルギー型設備を導入 します。 ・これまで公用車へのハイ ブリッド自動車・電気自動車 の導入により削減してきた燃 料使用量を今後も維持しま す。 ・循環型社会構築のため、 建設発生土などの再生資源 を有効活用します。	・公用車の燃料使用上限量を、 15,400L(H27～29年度平均) とします。 ・建設発生土などの再生資源 を有効活用します。	①3,044  ②3,044	2,053	67%	・燃料使用量は、目標上限値に 対し、74.4%であり、使用 量抑制目標を達成しました。 ・建設発生土などの再生資源 を有効活用しました。	<input type="checkbox"/> 公用車燃料使用量の維持 (11,457/15,400L)	有効性	A	A	B	・車両の入れ替えの際は、より 燃費性能の高い車両の導入に 努めます。また、省エネ運転 の周知により、使用燃料の削 減を推進する。	現 状 維 持 で 継 続
													効率性	A	B			
													説明責任	B	B			
													組織学習	B	B			
持 続	6 経営基盤 の強化	6-1 財政基盤の 強化	6-1-1 水道料金の 継続的検討	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道 事業を継続していくために、 経営資源を効果的に活用し、 健全な財政状況のもと、組 織能力・組織体制を強化し、 中長期的な視点に立った経 営を行います。	・給水収益の減少や水道施設 の老朽化など、厳しい経営環 境の中でも、安全・安心な水道 水を安定してお届けするため に、適切な水道料金と料金体 系を検討します。 ・大口需要者の動向を調査し、 精度の高い水需要予測をする ことで、適切な料金改定の時 期、料金水準等を検証しま す。	・類似団体及び県内事業者等、 必要に応じて対象事業体を 抽出し、水道料金の調査・分 析を行います。 ・水道料金に加え、基本水量 等についても調査・分析を行 います。 ・大口需要者の動向を調査し、 水道料金に与える影響等を 検証します。	①0  ②0	0	—	・収集した資料を基に、調査 対象事業体の水道料金に関 わる情報を比較・分析しま した。 ・大口需要者の令和5年度の 動向を調査し、水量を比較 ・検証しました。 ・上下水道事業運営審議会に て水道料金のあり方につい ての検討を進めています。	<input type="checkbox"/> 収納に占めるキャッシュレス 決済利用率(73.71/72.34%)  <input type="checkbox"/> 過年度収納率(95.53/94.38%)	有効性	B	A	B	・健全経営を継続するためには、 適正な水道料金の設定が必要 です。適正な料金水準につい て検証を継続します。 ・更に適正な料金水準につい て検討を行うため、基本水量 等についても調査を進めます。 ・料金回収率等の経営指標や 水道料金について検証及び分 析した内容を係内で共有し、 職員の知識及び組織能力の 更なる向上を行いました。	現 状 維 持 で 継 続
													効率性	B	B			
													説明責任	B	B			
													組織学習	B	B			
		6-1-2 収納率の向 上	料金課		将来にわたり安定した水道 事業を継続していくために、 経営資源を効果的に活用し、 健全な財政状況のもと、組 織能力・組織体制を強化し、 中長期的な視点に立った経 営を行います。	財政基盤を強化するとともに、 料金負担の公平性を確保する ため、収納率の向上を図りま す。	・収納率向上や債権管理の適 正化のため、水道料金支払 いにおけるキャッシュレス 決済を推進します。 ・現年度収納率の維持及び過 年度収納率の向上が図られ ているか検証します。	①0  ②0	0	—	・水道料金等支払いのキャ ッシュレス化に取り組み、 キャッシュレス決済利用率が 前年度に比べ向上しました。 ・弁護士法人による未収金回 収業務委託や、他市への居 所不明者調査を行い、未収債 権の回収に取り組んでいます。 ・現年度収納率は91.03%、 過年度収納率は95.53%であ り、令和5年度実績(現年度 90.87%、過年度94.38%)と 比較したところ、現年度、過 年度ともに向上しています。	<input type="checkbox"/> 収納に占めるキャッシュレス 決済利用率(73.71/72.34%)  <input type="checkbox"/> 過年度収納率(95.53/94.38%)	有効性	A	A	A	・債権管理の適正化やお客様サ ービス向上のため、キャッ シュレス決済を今後も推進 していきます。 ・水道事業を実施するための 原資である水道料金につい て、収納率向上のための取 組みを継続していきます。	現 状 維 持 で 継 続
													効率性	A	A			
													説明責任	B	A			
													組織学習	B	B			

令和6年度水道事業評価(終了時)一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
								有効性					指標や目標値の達成度	目的に対する実施内容				
								効率性					業務のプロセス改善 (創意工夫)	投入した費用・労力に対する成果	評価理由 (特記事項)			
								説明責任					意見や苦情に対する適切な対応	情報発信の実施				
								組織学習					職員の知識向上のための取組み	知識の伝達				
			6-1-3 資産・資金管理の効率化	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	・持続可能な水道事業を実現するために、アセットマネジメントを活用した効率的な資産の管理運営に努めます。 ・将来にわたり健全な経営に資するため、安全性、流動性を確保した資金管理を行います。 ・中長期的な資金需要を把握し、事業規模に見合った企業債の借入れを行うことで、過度に借入金に依存することのない持続可能な財政運営に努めます。 ・庁内LANにより情報資産を効率的かつ適正に管理・運用するとともに、情報セキュリティマネジメントによりウイルス感染など様々なリスクにおける被害を最小限にとどめます。	・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めます。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な額で行います。	①29,128  ②29,128	27,931	95%	・維持管理更新情報をアセットマネジメントシステムに入力し、蓄積することでデータベースの精度を高めることができました。 ・令和5年度の利益及び資金残高の決算見込みを作成し、令和7年度以降、各課が要望する老朽管・浄配水場の更新費用、漏水防止の委託料などに対応できる範囲を検証しました。 ・令和7年度予算編成において、令和6年度末の現金残高、令和7年度の資金需要などを精緻に見込み、可能な限り削減に努めた結果、企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えることができました。	<input type="checkbox"/> 自己資本構成比率 (65.0/62.2%)  <input type="checkbox"/> 企業債の借入れ額を償還額の範囲内に抑えることができた。	有効性  効率性  説明責任  組織学習	B  B  B  B	A  B  B  B	B  ・職員使用端末について、昨年度に引き続きリースではなく購入した共通仕様端末を使用することで、費用の削減を行うことができました。	・アセットマネジメントシステムには引き続き維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度を高めていきます。 ・令和7年度予算においては、現金の保有残高が減少する見込みとなっており、今後も現金の推移については注視していく必要があります。 ・漏水防止策を促進し、将来的な経費削減に努めます。また、配水管等施設更新の財源である企業債は自己資金とのバランスにより決定するため、今後どの程度資金が必要かを正確に把握する必要があります。このため、必要経費の見込みについては、予算編成前に直近の情報で見直しを行い、再度算定します。	現状維持で継続
		6-2 組織能力の向上	6-2-1 適正な組織・職員配置	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	事務事業や組織の見直し等により、人的資本を有効に機能させるとともに、「人材の育成」事業とあわせ、組織全体の価値提供水準を向上させます。	・社会情勢が変化中、お客様ニーズへの適切な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外勤務の実施時間を令和4年度比で5%削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を図ります。	①0  ②0	0	—	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営施策を実行するため、長期的視点に立ち、適切な組織・業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的・機動的な事業運営を行いました。令和6年度の職員の時間外勤務について、令和4年度と比較し、約1.2%削減となりました。	<input type="checkbox"/> 時間外勤務の実施時間の削減 R4年度比1.2%削減 (目標5%削減)	有効性  効率性  説明責任  組織学習	C  B  B  B	A  B  B  B	B  ・業務全体の見直しを図りながら、効率的かつ効果的な組織運営を行ったが、台風や大雨等の水害による被害の対応が増加したため、時間外勤務の実施時間が増加し、目標値を達成することができませんでした。	・人員配置や組織改正を検討する際には、併せて業務全体の見直しを行い、さらに職員の時間外勤務を削減できるよう、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運営を目指します。	現状維持で継続
			6-2-2 人材の育成	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	重要なライフラインを担う水道事業体として、資格取得や外部研修への参加を奨励するとともに、職員間で知識や技術を共有することにより、各事業に関する専門的な知識等を有する職員を継続的に育成し、将来にわたって水道事業を維持、継続していくために必要な専門的知識および技術の継承を図ります。	・局研修計画を継続して実施し、研修への参加を促進します。 ・職務に必要な資格取得を奨励します。 ・BPRを実践し、職員一人ひとりが日常的にBPRIに取り組む風土の醸成を図ります。	①1,165  ②1,165	744	64%	・職務に必要な資格については、7人が資格(給水装置工事主任技術者4人、石綿作業主任者1人、エネルギー管理企画推進者2人)を取得しました。 ・有料研修の実績については、延べ27人が20講座を受講し、水道事業体の職員としての見識を広げました。 ・職員(9名)が前年度の実践職員などからアドバイスを受けながらBPRIに取り組み、その内容を局内で共有しました。	<input type="checkbox"/> 水道技術に関する資格取得度 (1.58/1.51 件/人)  <input type="checkbox"/> 外部研修時間 (16.9/20.0 時間/人)  <input type="checkbox"/> 内部研修時間 (6.6/10.0 時間/人)	有効性  効率性  説明責任  組織学習	B  B  B  A	A  B  A  A	A  ・積極的に研修案内等の情報発信を行いました。今後も職員へ研修受講を勧めていきます。また、人事異動などを見据えて、日頃から、知識と情報の伝達に努め、更なる組織能力の向上・改善を図っていきます。 ・BPRを実践し、業務の効率性・利便性を向上させました。また、その内容を局内に共有することで、職員一人ひとりが日常的にBPRIに取り組む風土の醸成を図りました。	・今後も積極的に局内各課へ情報提供を行い、研修の受講や資格取得を促していきます。 ・引き続きBPRを実践し、職員一人ひとりが日常的にBPRIに取り組む風土の醸成を図ります。	現状維持で継続
		6-3 経営体制の強化	6-3-1 中期経営計画の運用	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	・経営基盤の強化を図るため、中期経営計画を策定し、各事業の進捗管理を行います。 ・中期経営計画に基づく財政とバランスのとれた施設整備を進めます。	・事業評価および中期経営計画のローリングを実施し、各事業の進捗管理を行います。 ・財政収支計画を検証するとともに、経営戦略の改訂を行います。 ・第3期中期経営計画の改訂を行います。	①78  ②89	88	99%	・事業評価および中期経営計画のローリングを実施し、各事業の進捗管理を行いました。 ・財政収支計画を検証し、第3期中期経営計画の改訂を行いました。		有効性  効率性  説明責任  組織学習	B  B  B  B	A  B  B  B	B  ・各事業における進捗状況を把握するとともに、進捗管理を行いました。 ・財政収支計画を検証し、第3期中期経営計画の改訂を行いました。	・事業評価および中期経営計画のローリングにより、各事業の課題等を洗い出します。 ・第3次川口市水道ビジョン第3期期間検証を実施します。	現状維持で継続
			6-3-2 広域連携の強化	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	・水需要の減少、人材の確保などの課題に対し、他の水道事業者と連携し、管理の一体化や施設の共同化などの広域化施策を検討します。 ・水道事故などの危機対応のため、関係団体との連絡体制の構築、情報の共有化を図ります。	・「埼玉県水道整備基本構想」に基づき、関係団体と検討部会を開催し、水道広域化について検討します。 ・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会における連携を図ります。 ・日本水道協会における連携を図ります。 ・埼玉県営水道用水購入団体等連絡協議会における連携を図ります。	①877  ②877	876	100%	・埼玉県第7ブロック水道広域化検討部会にて、水道広域化についての検討・情報共有をしました。 ・公益社団法人日本水道協会については、各支部、地区内で情報共有を行いました。 ・埼玉県営水道用水購入団体等連絡協議会では埼玉県企業局と意見交換会を開催し、情報共有を行いました。 ・利根川・荒川水系連絡協議会は総会、幹事会に書面にて参加しました。利根荒水協水質事故対応訓練に参加し、水質事故が起きた際の連絡方法などを確認できました。		有効性  効率性  説明責任  組織学習	B  B  B  B	A  B  B  A	B  ・水道広域化については、関係事業体の状況を共有したことで、広域化可能な業務についての検討を進めることができました。	・引き続き、各団体において、他事業体との連携を図るとともに、関係事業体間で広域化可能な業務について検討します。	現状維持で継続